

交付運用報告書 2023年4月期（2022年5月1日～2023年4月30日）

i シェアーズ MSCI 米国 ESG セレクト ETF
iShares MSCI USA ESG Select ETF

米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託
米国デラウェア籍法定トラスト

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、i シェアーズ MSCI 米国 ESG セレクト ETF（以下「ファンド」といいます。）の受益証券は、このたび、2023年4月期の決算を行いました。ファンドの投資目的は、指数提供者が好ましいと定義する環境、社会、企業統治に関する特性を有する米国企業により構成される指数に連動する運用成果を追求することです。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

2023年4月末日

1口当たり純資産価格（基準価格）	88.35米ドル
純資産総額	3,260,027,828米ドル
2023年4月期（2022年5月1日～2023年4月30日）	
トータルリターン	1.30%
1口当たり分配金額	1.289715米ドル

（注）1口当たり分配金額は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

ファンドの運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、取次証券会社までお問い合わせください。

<その他記載事項>

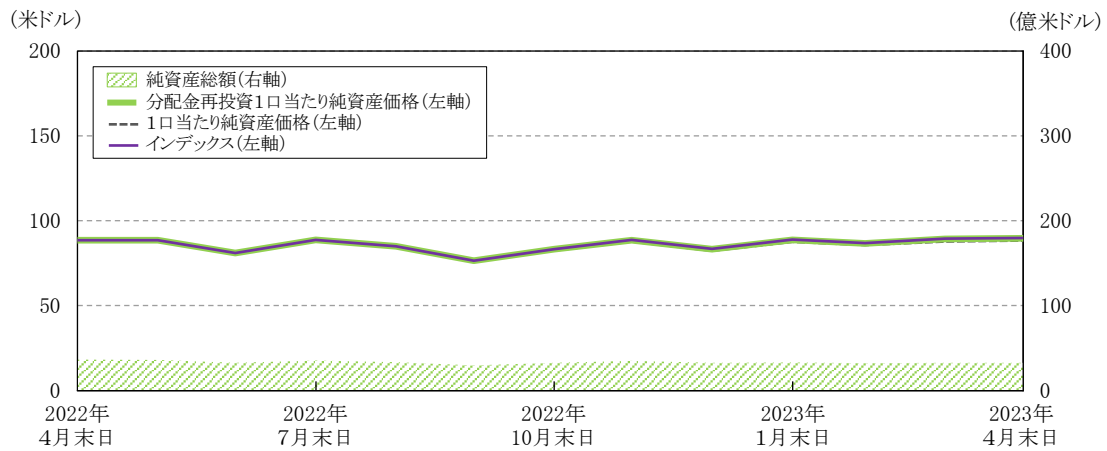
交付運用報告書および運用報告書（全体版）はブラックロック・ジャパン株式会社のウェブサイト（<https://www.blackrock.com/jp/>）の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

トラスト：

i シェアーズ・トラスト

《運用経過》

当期の1口当たり純資産価格等の推移について



2022年4月末日現在の1口当たり純資産価格：88.58米ドル

2023年4月末日現在の1口当たり純資産価格：88.35米ドル

(1口当たり分配金額：1.289715米ドル)

トータルリターン：1.30%

(注1) 上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。

(注3) ファンドのインデックスは、MSCI USA エクステンデッド ESG セレクト指数 (MSCI USA Extended ESG Select Index) (以下「インデックス」といいます。) です。

(注4) インデックスおよび分配金再投資1口当たり純資産価格は、2022年4月期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注5) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、各投資者の購入状況などにより課税条件が異なるため、分配金に対する税金を考慮していません。そのため、最終的な税引後の結果を示すものではありません。

1 口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて

米国市場概観

2023 年 4 月 30 日に終了した年度（以下「当年度」）において、米国株式市場パフォーマンスの一般的な指標であるラッセル 3000 株価指数が 1.50% のリターンとなった中、米国株式は上昇しました。インフレ率の上昇と金融政策の急速な引き締めなどの逆風にもかかわらず、株式は経済の持続的な回復力に支えられました。インフレ率は当年度を通じて高水準でしたが、インフレ率の上昇ペースは緩やかになり、投資家の楽観的な見方が強まりました。市場は、当年度終わりに銀行業界の混乱に直面したものの、持ちこたえました。2023 年 3 月、銀行 2 行が突然破綻し、資産額で米国史上 2 番目と 3 番目に大きな銀行破綻となり、3 番目の銀行の安定性が懸念されました。しかし、政府機関の迅速な対応により、破綻した銀行の資産売却と流動性供給が行われ、株価は回復しました。

インフレは経済見通しを大きく左右する要因でした。当年度に入り、インフレを示す指標として広く普及している消費者物価指数は数十年ぶりの高水準となりました。堅調な個人消費と労働市場の逼迫に加え、アジアにおけるサプライチェーンの混乱が続き、物価を上昇させました。インフレ率は 2022 年 7 月から低下し始め、10 ヶ月連続で減速が続いています。それにもかかわらず、インフレ率は歴史的な水準で高止まりしており、物価上昇は消費者と企業の双方にマイナス影響を及ぼしました。

米国経済は、2022 年上半期の縮小から回復し、2022 年下半年期と 2023 年第 1 四半期に緩やかな成長を記録しました。多くの消費財およびサービスの価格が上昇したにもかかわらず、消費者は引き続き支出を増やし、経済を牽引しました。失業率が依然として非常に低く、一時は 1969 年以来の最低水準まで低下したこともあり、堅調な労働市場が消費を支えました。さらに、労働参加率（生産年齢人口に占める雇用者または求職者の割合）は上昇し、より多くの人々が労働力として取り込まれていることを示しています。労働供給が逼迫する中、賃金は大幅に上昇し、特に低賃金層での上昇幅が大きくなりました。

インフレを抑制するため、米国連邦準備銀行（以下、「Fed」）は当年度中に 8 回の短期金利引き上げを行い、金融政策を急速に引き締めました。インフレが沈静化し始めて引き上げ幅を縮小する前に Fed は引き上げ幅を 2 回拡大したため、引き締めのペースは加速しました。Fed はまた、コロナウイルスのパンデミックの初期段階で市場を安定させるために蓄えていた米国債を減らし、バランスシートの縮小に着手しました。Fed は、長期的なインフレ目標を達成するためにはさらなる引き締めが必要であることを示唆しましたが、当年度の終わり頃には、さらなる利上げの可能性についてより慎重な姿勢を示しました。

景気の逆風にもかかわらず、企業収益は堅調に推移しました。これは、多くの企業が人件費や投入コストの上昇にもかかわらず、利益率を維持するために十分な価格引き上げを行うことができたためです。しかし、2022 年第 4 四半期は全体的に利益が減少し、イールドカーブ（満期が異なる米国国債の金利をグラフ化したもの）が反転し、これは借入コスト上昇が経済に与える影響を市場が懸念していることを示しています。さ

らに、個人貯蓄の減少や家計債務の増加は、経済成長の原動力となる個人消費の持続可能性に疑問を投げかけました。

1. 運用の経過

i シェアーズ MSCI 米国 ESG セレクト ETF

2023年4月30日現在のファンド概要

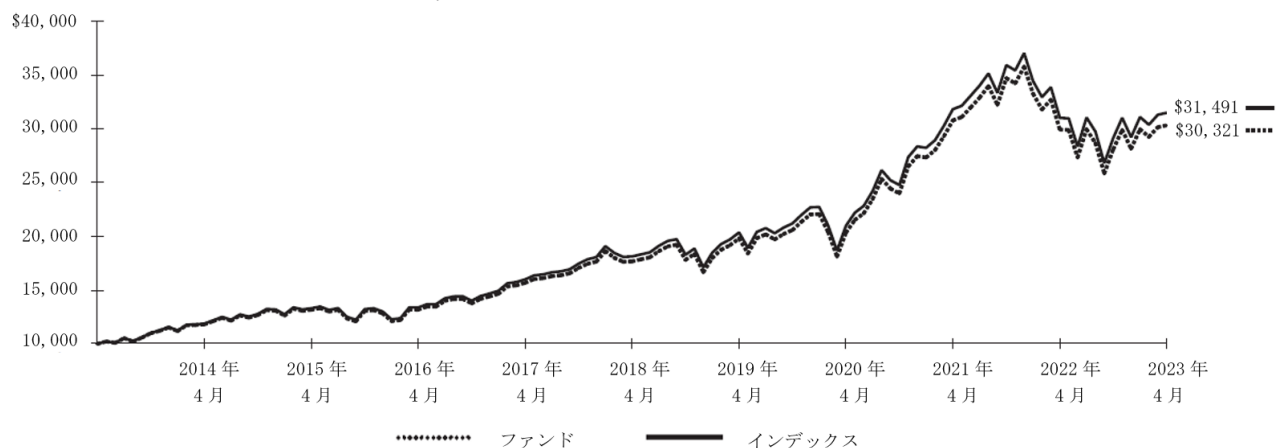
投資目的

iシェアーズ MSCI 米国 ESG セレクト ETF（以下「ファンド」）は、MSCI USA エクステンデッド ESG セレクト指数（以下「インデックス」）に代表される、インデックスプロバイダーが好ましいと定義する環境、社会、企業統治に関する特性を有する米国企業の株式で構成されるインデックスと同等の投資成果をあげることを目指しています。ファンドは、全体としてインデックスと同様の投資特性を有する、インデックスに含まれる代表的な構成銘柄を組入れています。代表的な構成銘柄の組入れにより、ファンドはインデックスに含まれる銘柄のすべてを保有する場合もあれば、しない場合もあります。

パフォーマンス

	年間平均トータルリターン			累積トータルリターン		
	1年	5年	10年	1年	5年	10年
ファンドのNAV	1.30%	11.41%	11.73%	1.30%	71.61%	203.21%
ファンドの市場	1.27%	11.39%	11.73%	1.27%	71.47%	203.16%
インデックス	1.55%	11.69%	12.15%	1.55%	73.78%	214.91%

10,000 米ドル投資の純資産価額の推移



過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。運用パフォーマンスの結果は、ファンドの分配時あるいはファンド受益証券の償還時または売却時に受益証券保有者が支払う可能性のある税金の控除を反映していません。

費用例

実績値			5%の仮説リターンに基づく仮定値			
口座の 期首価額	口座の 期末価額	当期間の 費用	口座の 期首価額	口座の 期末価額	当期間の 費用	費用比率 (年率)
2022年11月1日	2023年4月30日	支払額 ^(a)	2022年11月1日	2023年4月30日	支払額 ^(a)	
1,000.00 米ドル	1078.90 米ドル	1.29 米ドル	1,000.00 米ドル	1,023.55 米ドル	1.25 米ドル	0.25%

^(a) 費用は、当期間中の口座の平均価額に、年率換算された費用比率および 181/365（表示されている半年の期間を反映）を乗じたものに相当します。売買委託手数料および金融仲介業者へのその他の手数料など、上記の表や例には反映されないその他の手数料が支払われる場合があります。

ポートフォリオ管理の説明

企業の環境、社会およびガバナンス（以下、「ESG」）特性を考慮する米国株式ファンドは、政府が気候関連イニシアチブを継続的に実施しているにもかかわらず、当年度を通じて投資資金の純流出を経験しました。2022年8月、米国は支出や税額控除によりクリーンエネルギーの導入を促進することを目的とした過去最大規模の気候変動対策予算を可決しました。証券取引委員会は、上場企業に気候関連情報の開示を義務付ける規則の検討を続けました。しかし、一部の州は、ESGを明確に考慮せずに、州の投資資金を従来の戦略に限定しようとしていました。

この期間中、インデックスに代表される明確なESG特性を持った米国企業の銘柄は、当年度において上昇しました。人工知能（以下、「AI」）技術の進歩に牽引され、情報技術セクターはベンチマークのリターンに最も貢献しました。資本財産業が生産能力増強のための投資を促進する政府の奨励策による恩恵を受けたため、資本財関連銘柄も上昇しました。

マイナス面では、自動車業界が景気低迷により電気自動車市場に対する懸念に直面したため、一般消費財セクターのベンチマークのパフォーマンスを引き下げました。より多くの自動車メーカーがEVのラインアップを拡充する中、国内外のメーカーとの競争激化も業界にとって重荷となりました。また、通信サービス・セクターも、オンライン広告の需要が鈍化する中、下落しました。

相対的パフォーマンスでは、ベンチマークはMSCI USAインデックスに代表される市場全体のパフォーマンスをわずかに上回りました。市場全体と比較して、ESGの選定プロセスにより、ESG特性がより高い銘柄の組入比率はオーバーウェイトされ、ESG特性がより低い銘柄の組入比率はアンダーウェイトされています。ベンチマークの組入比率は、生活必需品および資本財セクターがオーバーウェイトされ、通信サービスおよび一般消費財セクターがアンダーウェイトされています。資本財とヘルスケア・セクターの銘柄の選定がベンチマークの相対的なパフォーマンスに貢献しました。

ポートフォリオ情報

セクター別内訳

セクター	総投資比率 ^(a)
情報技術	28.7%
ヘルスケア	13.4
資本財	12.7
生活必需品	10.6
金融	10.1
一般消費財	7.3
通信サービス	5.0
エネルギー	4.3
不動産	3.3
素材	3.3
公益事業	1.3

組入上位 10 銘柄

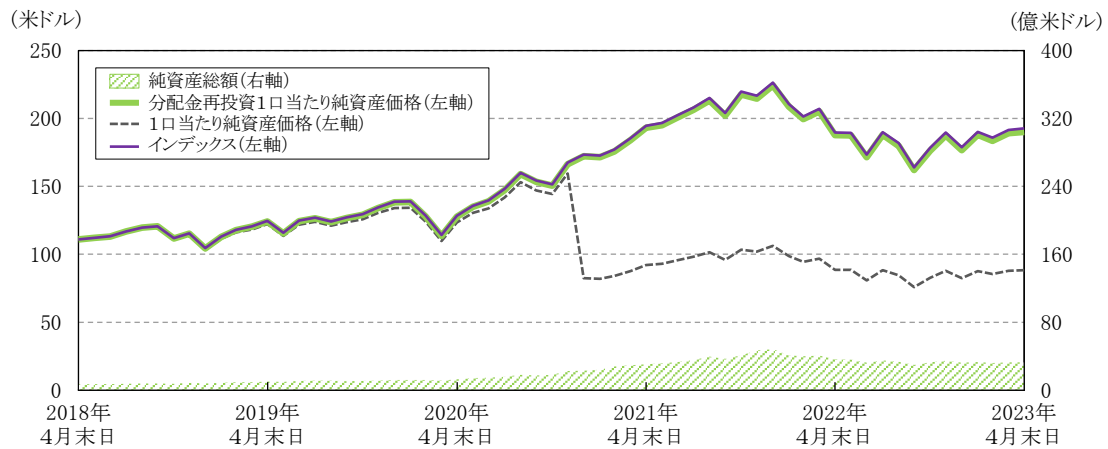
証券	総投資比率 ^(a)
Microsoft Corp.	5.8%
Apple, Inc.	5.4
NVIDIA Corp.	2.6
Coca-Cola Co. (The)	2.0
PepsiCo, Inc.	1.7
Home Depot, Inc. (The)	1.7
Alphabet, Inc., Class A	1.7
ONEOK, Inc.	1.5
Texas Instruments, Inc.	1.5
Johnson Controls International PLC	1.4

^(a) マネー・マーケット・ファンドを除く。

費用の明細

項目	項目の概要	
投資顧問報酬	平均日次純資産総額の年率 0.25%	ファンドに提供する投資顧問サービスの対価
その他の費用	0%	当該事項はありません。

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について



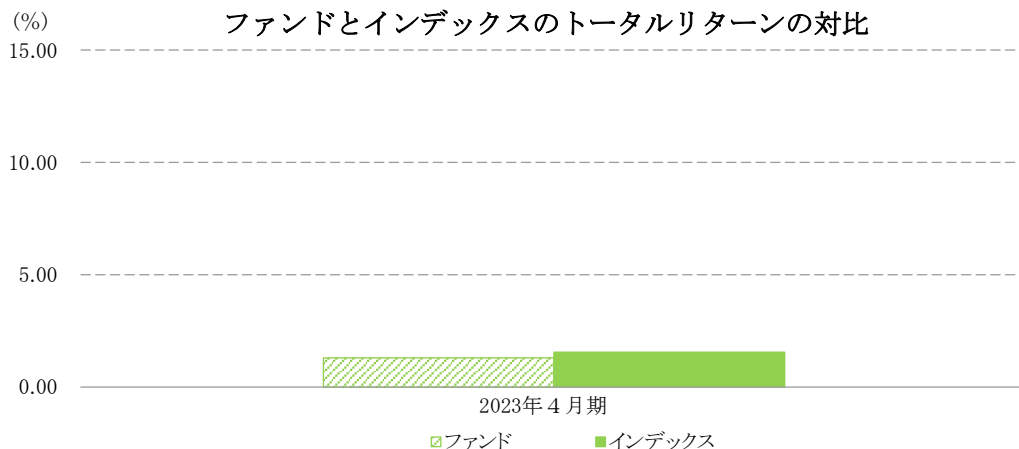
	2018年 4月末日	2019年 4月末日	2020年 4月末日	2021年 4月末日	2022年 4月末日	2023年 4月末日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	110.83	122.16	123.35	92.11	88.58	88.35
1口当たり分配金額 (米ドル)	—	1.882617	2.100595	1.440197	1.084778	1.289715
ファンドのトータル リターン (%)	—	12.07	2.76	51.29	−2.77	1.30
インデックスのトータル リターン (%)	—	12.35	3.03	51.68	−2.53	1.55
純資産総額 (千米ドル)	681,607	1,001,715	1,289,055	3,057,931	3,662,646	3,260,028

(注1) 上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。

(注2) インデックスおよび分配金再投資1口当たり純資産価格は、2018年4月期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注3) ファンドは、2020年12月4日の取引終了後2対1の受益権分割を行っています。上記の表では、1口当たり純資産価格は、当該受益権分割を反映した数値を掲載しています。

ベンチマークとの差異について



分配金について

当期（2022年5月1日～2023年4月30日）の1口当たり分配金（税引前）はそれぞれ下表のとおりです。
 なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

（金額：米ドル）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 ^(注1))	分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 ^(注2)
2022年6月9日	85.88	0.219832 (0.26%)	－10.45
2022年9月26日	77.11	0.377325 (0.49%)	－8.40
2022年12月13日	86.59	0.365230 (0.42%)	9.85
2023年3月23日	84.12	0.327328 (0.39%)	－2.15

（注1）「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率（%）＝ $100 \times a / b$

a＝当該分配落日における1口当たり分配金額

b＝当該分配落日における1口当たり純資産価格＋当該分配落日における1口当たり分配金額

（注2）「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額＝ $b - c$

b＝当該分配落日における1口当たり純資産価格＋当該分配落日における1口当たり分配金額

c＝当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

（注3）2022年6月9日の直前の分配落日（2022年3月24日）における1口当たり純資産価格は、96.55米ドルでした。

《今後の運用方針》

引き続き、インデックスのパフォーマンスと密接に連動した投資成果を提供することを目指し、ファンドの運用を行う予定です。

《お知らせ》

該当事項はありません。

《ファンドの概要》

ファンド形態	米ドル建て／オープンエンド契約型外国投資信託 米国デラウェア籍法定トラスト
信託期間	無期限
運用方針	ファンドは、指数提供者が好ましいと定義する環境、社会、企業統治に関する特性を有する米国企業により構成される指数に連動する運用成果を追求します。
主要投資対象	ファンドは通常、その資産の90パーセント以上をインデックスを構成する有価証券に、またその資産の10パーセントまでを特定の先物、オプションおよびスワップ契約、現金および現金等価物に投資します。
運用方法	ファンドは、MSCI 米国・インデックス (MSCI USA Index) に類似したリスク・リターン特性を持ちつつ、好ましい環境、社会、企業統治 (ESG) 特性へのエクスポージャーを最大化するために設計された最適化指数であるインデックスに一致する運用成果を追求します。 BlackRock Fund Advisorsは、ファンドの投資目的を達成するために、インデクシング・アプローチを使用します。 BlackRock Fund Advisorsは、ファンドの運用につき代表サンプリング指数戦略を使用します。代表サンプリングとは、全体としてインデックスの代表サンプルと類似する投資プロファイルを有する証券の代表サンプルに投資する指数戦略をいいます。
投資制限	1. 投資を集中させること（すなわち、全資産の25パーセント以上、特定の産業または産業グループの株式を保有すること）。但し、ファンドは、インデックスが特定の産業または産業グループに株式を集中させる程度とほぼ同程度に投資を集中させます。かかる制限の目的上、米国政府（その支分機関および系列機関を含みます。）の証券、米国政府証券の担保付き買戻契約および連邦または地方政府もしくはその政府当局の証券は、いかなる産業の構成員から発行されたものとして解釈されません。 2. 借入を行うこと。但し、(i) ファンドは、これを行わなければ時機を失した有価証券の処分を要することとなる買戻請求に対応することを含む臨時または緊急目的（レバレッジ目的を除きます。）で銀行から借入を行うことができ、(ii) ファンドは、その投資方針と合致している限り、買戻契約、逆買戻契約、先送り取引、およびこれらと類似する他の投資戦略および技術を履行することができます。(i) および(ii) の取引を行う場合に限り、当該取引からファンドは総資産（借入額を含みます。）の33⅓パーセント以上を取得してはならないという制限が課されます。当該金額を超過する借入は、適用法に基づき縮減されます。 3. 優先的受益証券を発行すること。但し、米国1940年投資会社法（改正済み。）で認められているか、または、管轄権を有する規制当局が、随時、解釈、修正その他により許可する場合を除きます。 4. 貸付を行うこと。但し、米国1940年投資会社法（改正済み。）で認められているか、または、管轄権を有する規制当局が、随時、解釈、修正その他により許可する場合を除きます。 5. 不動産、不動産抵当、商品、商品契約を売買すること。但し、かかる制限はファンドが先物契約および先物契約のオプションを取引すること（ファンドの投資目的および投資方針と合致している限り、為替オプションを含みます。）を禁止するものではありません。 6. 他の者が発行した証券の引受業務に携わること。但し、ポートフォリオ証券の処分により、ファンドが、厳密には、米国1933年証券法における引受人とみなされる場合を除きます。
分配方針	純投資収益からの分配金（もしあれば）は、最低でも毎年宣言され、ファンドから支払われます。証券の実現純収益（もしあれば）の分配は、通常年に一回宣言され、支払われますが、トラストは、ファンドに対してより頻繁に分配を行うことができます。ファンドの登録投資会社としての地位を維持するため、または、分配されない収益または実現利益に所得税もしくは消費税が賦課されることを回避するために必要または望ましいとファンドがその合理的裁量により決定した場合、臨時分配金を宣言する権利を有します。

《ファンドデータ》

組入資産の内容（2023年4月期末現在）

組入上位資産

（注）組入上位銘柄および組入銘柄数は、ファンドのアニユアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため、記載することができません。組入銘柄の詳細は、運用報告書（全体版）の「IV. 投資有価証券の主な銘柄」を参照ください。

組入資産の資産別配分、国別配分および通貨別配分

（注1） ファンドの組入資産の資産別配分、国別配分および通貨別配分は、ファンドのアニユアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため、記載することができません。

（注2） ファンドの組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

純資産等

2023年4月期末	
1口当たり純資産価格	88.35米ドル
純資産総額	3,260,027,828米ドル
発行済口数	36,900,000口

2023年4月期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
1,950,000	6,400,000	36,900,000

本報告書に記載の「1口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて」は、ファンドのアニユアル・レポートの該当部分の翻訳であり、本報告書と原文（英文）との間に相違がある場合には、原文（英文）の内容に従うことになります。なお、原文（英文）の記載のうち、ファンドに関係しない部分を省略する場合があります。